

## 平成 26 年度「みやざき 6 次産業化チャレンジ塾」を開講しました

6 次産業化を目指す農林漁業者及び 6 次産業化の取り組みを推進する指導者を育成する「みやざき 6 次産業化チャレンジ塾」を、8 月 1 日に開講しました。受講生は農林漁業者を対象としたグローバル農業法人育成コースが 33 名、指導者を対象とした 6 次化推進プロデューサー育成コースが 34 名の計 67 名となり、各コース 20 名程度とした設定よりも多くの方を受け入れることとなりました。平成 24 年度から 3 回目の開催をむかえ、6 次産業化への関心が年々高まっていることがうかがえます。

開講式には、受講生のほか行政・関係者など約 100 名が出席されました。当公社の宮協理事長が主催者として挨拶し、水田九州農政局宮崎地域センター長及び緒方宮崎県農政水産部長が受講生に激励の言葉を贈られました。受講生からはグローバルコースを代表して東慶良さん（えびの市）が、「生産するだけの一次産業」から脱却し、「競争し、成長する一次産業」へのチャレンジとして「6 次産業化による儲かる農林水産業」を目指しますと決意を、プロデューサーコースを代表して岩切あけみさん（宮崎市）が一次産業者の「夢」の扉を開き、「構想」をプランニングすることで、農林漁業者の 6 次産業化への実現に向けたサポーターとしての役割を担っていきたいと抱負を述べられました。



代表挨拶する東慶良さん

開講式後、河野知事から宮崎県の進める「フードビジネス推進」についての講義のほか、コーソー経営研究所長の後久博氏による基調講演が行われました。6 次産業化の全国の豊富な事例や 6 次産業化成功のポイント等について説明され、受講生は熱心に聞き入っていました。

このチャレンジ塾は、8 月から 11 月までの約 3 か月にわたり、毎週 1 回、食品加工・衛生管理や商品開発・販売戦略及び財務会計等など 6 次産業化の基礎から応用まで体系的に学べるカリキュラムで、県内外の著名な講師による講義、演習等を実施します。



河野知事による「フードビジネス推進」の講義

受講生には知識とノウハウの修得による自身のスキルアップのみならず、受講生同士のネットワークづくり、更に地域農業の発展につながることを期待されます。  
【新農業支援課】

左写真：食品加工技術論でのグループワーク  
真剣な表情で取り組む受講生たち



## 農地中間管理機構 農用地等借受希望者の募集について



平成26年7月1日から7月30日にかけて、農地中間管理機構による第一回農用地等の借受希望者の募集を13市町22地域で行いました。募集の結果、101件の申し込みがあり、借受希望面積は計693.47ヘクタールでした。今後は分散した農地をまとまった形で利用できるよう配慮しながら出し手とのマッチングを進めていきます。

**次の公募は10月1日から10月31日を予定しています。**

受付は募集地域の該当市町村の農政担当課窓口です。多くの応募をお願いします。また、来年1月には本年度最後の公募を予定しております。

お問い合わせは宮崎県農業振興公社（農地中間管理機構）農地第一課、もしくは各市町村の農政担当課窓口まで。公社ホームページもご活用ください。

## 耕作放棄地の再生整備事例をご紹介します

昨年、耕作放棄地の再生整備を完了した川南町にある(有)井尻太郎茶園のその後を紹介します。

再生整備面積は、2.4ヘクタールあります。再生整備にあたっては、旧農地保有合理化事業を活用し、買入後に売渡を行った後、整備を行いました。



整備前は、茂る雑草や巨大な切り株が残る荒地でしたが、専用の機械で整備を終えた今はお茶の作付を行っています。周辺には通路が設けられ、高台からは日向灘も望める景色の良い所に位置しています。

現在、お茶の栽培、及び作付準備中です。数年後には、新茶の収穫が予定されています。お近くに行かれる機会がありましたら、是非、足を運んでみて下さい。

【農地第一課】



## 青年就農給付金事業（準備型）の第二回募集（9月22日～10月20日）

この事業は、平成24年度からスタートし、就農前の研修段階及び就農初期段階の青年に対して、年間150万円を給付するものです。本年度から、研修段階の準備型については、当公社が事務手の全てを行うこととなりました。

### ●準備型とは（給付期間）

就農に向けて、県の農業大学校等の農業経営者育成教育機関や先進農家等で研修を受ける者に対して給付金を給付する事業で、給付期間は最長2年間です。

### ●給付対象者の要件等

- ①就農予定時年齢が、原則45歳未満で農業経営者となる強い意欲を有していること
- ②県が認める研修機関、先進農家又は先進農業法人で研修を受けること
- ③研修期間が概ね1年かつ概ね1200時間以上であること
- ④研修終了後1年以内に独立自営就農、雇用就農又は親元就農すること等

### ●募集期間及び問い合わせ先

- ・平成26年9月22日（月）から10月20日（月）
- ・宮崎県農業振興公社 担い手支援課 (0985-51-2011)
- ・宮崎県地域農業推進課 担い手企画担当 (0985-26-7126)



募集を始めましたら、公社ホームページで募集要領を公開します。

研修状況確認の様子

## 平成26年度みやざき就農相談会を開催します（10月5日）

この相談会は、県内で農業を始めたい・農業法人等に勤めたい方を対象に毎年開催しています。

新規就農に向けた支援を行う当公社や関係機関・団体の担当者が、就農の手順、農作業体験等の短期研修や長期研修に関すること、農地やハウス・機械などの取得方法、他産業からの農業参入の方法等、各コーナーで個別に相談をお受けします。

また、農業経営者2名からは、実際の経験談を聞くことやアドバイスを受けることができます。就職については、農業法人等の会社概要説明を各事業所の担当者や代表から直接聞くことができます。和牛肥育・養豚・鶏といった畜産から、露地野菜、トマト・ピーマンなどの施設野菜と、様々な会社がブースの出展を予定しています。

ハローワークコーナーでは、出展のない会社等の求人情報の閲覧や就職についての相談もできます。

昨年度は71名の方が来場され、就農や法人への就職または就農のための研修をスタートされた方、就農のための相談をしながら情報収集されている方などがいらっしゃいます。

予約は不要です。興味のある方は、生の声を聞けるよい機会です。ぜひご参加ください。 【担い手支援課】



昨年度相談会の様子

- 1 日時 平成26年10月5日（日）  
10時～15時まで
- 2 場所 JA・AZM（アズム）ホール本館 大研修室  
宮崎市霧島1丁目1番地1
- 3 主な相談コーナー 就農・就職総合相談、会社就職説明  
研修・就農支援制度相談  
先進農家相談、農地、ハウス・農機相談

## これからの行事予定

日時	行事	会場	問合せ
9月22日(月)	青年就農給付金(準備型)公募 (～10月20日締切)		担い手支援課
10月1日(水)	農地中間管理 農用地等借受希望者公募 (～10月31日締切)	各市町村農政担当課窓口	農地第一課
10月4日(土)	新・農業人フェア 大阪会場	大阪マーチャンダイズ・マート	担い手支援課
10月5日(日)	みやざき就農相談会	JA・AZMホール	担い手支援課
11月1日(土)	宮崎県移住相談会 東京会場	ABCアットビジネスセンター	担い手支援課
11月11日(火)	みやざき6次産業化チャレンジ塾 閉講式	ニューウェルシティ宮崎	新農業支援課
12月20日(土)	新・農業人フェア 東京会場	池袋サンシャインシティ	担い手支援課

### あと2回

## MRTラジオコーナー「農業がんばっちょります！」

当会社では、平成26年4月から毎週火曜日の10時10分過ぎに、MRTラジオ朝の番組「フレッシュAMもぎたてラジオ」の中で「農業がんばっちょります！」のコーナーを提供してまいりました。

9月16日までの放送回数は25回を数え、新規就農者、6次産業化に取り組む農業者、研修生の受入先、関係機関・団体の方々22名や会社職員4名が出演し、様々な立場で農業に対する熱い思い、苦労話、農産物のPR、今後の目標などをご披露いただき、宮崎農業の魅力や会社の各種事業の内容を伝えることができたと感じています。残すところ23、30日の2回となりました。ぜひお聴きください。

そして、ご出演いただきました皆様、本当にご協力ありがとうございました。



7月出演の田口さん(中央)



4月出演の松山さん(右から2人目)

## こんにちはは農業振興公社です

当会社は常勤役員2名、職員36名、計38名がおり各課4～8名で構成しています。

レクリエーションの一環として、ミニバレーやリレーマラソンを楽しみ親睦を深めています。役職員一同明るく元気に前向きに！地域農業発展の実現のため皆様のお役に立てるよう、これからも力を合わせてがんばってまいります。



発行 公益社団法人宮崎県農業振興公社  
〒880-0913 宮崎市恒久1丁目7番地14  
TEL 0985(51)2011 FAX 0985(51)8006